

2011 年 10 月 5 日

第 30 回航空機事故消火救難総合訓練の実施について

1. 訓練の目的

本訓練は、成田空港において、2009年3月23日に発生した貨物機横転炎上事故により2名の尊い人命を失った事態を受け、事故発生時の初期対応、消火作業のより一層の能力向上、更に当該事故が旅客便だった場合を想定し、改めて成田空港に於ける航空機事故消火救難訓練の内容を再精査し、関係各者間の連携をより一層強化することを目的とする。従って、従来までの訓練を踏襲しつつ、より一層効果的と考えられる内容も取り入れ、空港内外の関係機関が一体となって実践的な活動を行い、各種緊急活動の的確かつ効果的な手順の習熟を図り、もって総合的な消火救難体制の強化を図ることを目的とする。

2. 訓練の概要

日 時 : 2011 年 10 月 13 日 (木) 14:15~15:45

場 所 : 成田国際空港整備地区エプロン (ノイズリダクションハンガー前)

主 唱 : 千葉県

主 催 : 成田市、国土交通省東京航空局成田空港事務所、N A A

3. 参加機関、人員等

61 機関、約 1,200 名

約 300 台の緊急車両等

4. 提供航空機

全日本空輸 B-767 型機

5. 本年度訓練の重点項目

- (1) 現場活動要員の安全確保のため、当該航空会社等へ搭乗者数、事故機搭載物品等のより迅速・確実な確認の実施
- (2) 化学消防車への用水補給のため、消防水利から給水車を経由した化学消防車への効率的かつ効果的な給水活動
- (3) 化学消防車への薬剤補給のため、泡原液タンク車による化学消防車への効率的かつ効果的な消火薬剤の補充活動
- (4) より迅速な負傷程度判別のため、自由記載部分を改良したトリアージ・タグによる負傷者選別の実施
- (5) 負傷者の迅速かつ適切な後方病院搬送のため、救急指揮所及び後方医療機関における緊密な連絡調整による搬送先、受入者数等の決定
- (6) 旅客便を想定し、搭乗者のより一層の安全確保のため、自治体消防及び空港消防の一部消火隊要員による避難誘導及び担架搬送の救助活動支援

6. 台風等荒天による中止の判断は、当日 10:30 に行います。